

3. 14:30~15:30 パネルディスカッション

AHPの最近の発展経緯とその適用

コーディネーター 木下栄蔵 (名城大学)

4. 15:40~18:30 AHPの実際への適用

グループAHPの人事評価への適用

八巻直一 (静岡大学)

非加法的ウェイトを用いたAHPの土木計画における適用

高野伸栄 (北海道大学)

湯沢町のリゾート開発による環境影響の定量化と経済的評価

松本昌二 (長岡技術科学大学)

絶対評価法によるリニューアルのコストベネフィット評価

宮坂房千加 (山武ハネウエル㈱)

阪神高速道路における自動点検監視システムの評価

桃沢宗夫 (阪神高速道路公団)

AHPによる県民意識調査と県の将来像の評価

野倉 淳 (とちぎ総合研究所)

AHPによる交通システムの評価

水間 毅 (運輸省)

九州国際空港構想の候補地選定-AHPによる候補地の総合評価

轟 朝幸 (高知工科大学)

参加費：正・賛助会員5,000円、学生会員1,000円、非会員8,000円 当日受付にてお支払いください。

問合せ先：日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

(協賛：(依頼中)土木学会)

●平成10年度秋季研究発表会

日程：10月15日(木)~16日(金)

場所：日本大学会館 〒102 千代田区九段南4-8-

24 (市ヶ谷駅から徒歩3分)

特別テーマ：「社会評価のOR」

自分の働きが正しく評価されているという意識は、その人にやる気を起こさせるものです。古い話ですが、源頼朝の軍が強かったのは、彼が、戦う軍勢に対して、これと同じ位の人数の、兵站と評価の役割をもつ人員を配置して、誰がどんな働きをしたかを克明に調査して、働きに応じた賞を与えたため、彼の兵士たちの戦う意欲が拳がったからだとのことです。

現在は、どんな組織でも、年功序列ではなく、能力主義が採用され、人事システムでも個人の能力評価は重要な問題となっていますし、また支店や部局の組織としての業績評価など、評価のORの問題は極めて多いと思います。ふるってご参加、ご発表をお願いしたいと思います。

実行委員長：高橋磐郎 (日本大学生産工学部)

実行副委員長：大沢慶吉 (日本大学生産工学部)

発表申込締切：7月13日(月) 必着

(宛先) 〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3F 日本OR学会事務局

Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をもって申込み受付とします。

・申込書等請求先：日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 (上記参照)。

問合せ先：〒275-0006 習志野市泉町1-2-1

日本大学生産工学部数理工学科 大沢慶吉

Tel. 0474(74)2658

追悼文

御園生善尚先生を悼む

本会フェローで平成8年度OR学会普及賞受賞者であられる御園生善尚先生は、去る3月18日、仙台市にて逝去されました。享年73歳でした。お酒がたいへん好きで、酒の席では楽しく胸のすくようなお話をいろいろ聞かせてくださいました。もうあのやさしい顔も拝見できないのかと思うと寂しい限りです。

先生はご専門の関数解析の分野ですばらしい業績をあげられたかたですが、実学としてのORにも強く興味を持たれ、学会の発足と同時に会員となり、

東北支部の設立に参加されました。その後、長きにわたり東北支部副支部長を努められ、企業との共同研究や企業内教育に積極的に取り組むなど、東北におけるOR活動を先頭になって引っ張ってこられました。先日の学会創立40周年・支部創立30周年記念シンポジウムでお会いしたのが最後となってしまいました。あまりに早すぎるお別れに言葉もございません。ただただご冥福をお祈り申し上げます。

高橋幸雄